

高分解能衛星リモートセンシング研究会

会長 中山裕則

幹事 羽柴秀樹

1. 研究会の概要

1-1 研究会の活動背景

現在、高分解能衛星による観測と利用は企業ベースで行われているケースがほとんどであり、学会等での成果発表、報告、紹介が極めて少ないのが現状です。そのため、高分解能衛星データの内容、利用状態、今後の展望などを紹介、検討する場を設けることは、リモートセンシングの研究者、技術者などにとっては重要です。このことから、研究会などを通じ、各高分解能衛星とその観測データの特色などを紹介し、利用の可能性などを検討する場を企画することには意義があると考えています。

当研究会は、定期的に高空間分解能の衛星画像を取上げ、その特徴を、今後どのような分野での利用の展望が開けるかという点も含めて継続的に調査研究し、その結果を蓄積しながら会員を含め広く情報を発信することを目指しています。

1-2 当面の活動目標

- 今後（3年程度）の高分解能衛星の開発・運用の動向を種々の観点から調査する。
- 動向調査に基づき、各高分解能衛星データごとにプロバイダーに紹介をしてもらい、研究会では利用の可能性、要望、情報発信などを検討する。
- 利用可能な幾つかの高分解能衛星データを対象に利用解析を試み、研究会で利用拡大、要望について議論する。また、その成果は学術講演会等で報告する。
- 3年程度を目処に動向調査を行い、次の期間で取上げる衛星/センサを検討する。

2. 最近の活動実績

- ◇平成20年度秋季学術講演会における高分解能衛星データの利用事例パネル報告
- ◇過去の活動実績・大規模地震災害発生時の高分解能衛星画像利用事例報告(学会誌)
 - ・各学術講演会での高分解能衛星データの利用事例報告

3. 連絡先

会長 中山裕則(日本大学文理学部)

幹事 羽柴秀樹(日本大学理工学部)